

太子生 締めくくりの三学期

～ 高校修学旅行の報告・正当御忌式・中学の報告など ～

上宮太子ニュース

～感謝と挑戦～

学校新聞

令和元年度

『上宮太子ニュース』

1・2・3月号

発行：上宮太子

中学校・高等学校

上宮太子高校修学旅行

オーストラリア

12月15日～

本校の修学旅行は、学びと交流を重視しています。今年度の高校修学旅行は、2隊に分かれて、オーストラリアに行きました。内容としては、まずケアンズに行き、ファームステイを行い、オーストラリアの家庭で色々な体験をさせて頂きました。学びとして、その後レインフォレステーションに行き、アボリジニの文化に触れ、ブーメランなどの伝統的な狩猟方法を体験しました。またカンガルーなどの動物にも触れ合いました。他にも、グリーン島に行き、きれいな海で遊泳しました。みんな本当にいい経験をしたようです。

高1の各クラスからの報告です。期待に胸を弾ませ、ついにやってきた高校一大イベントの修学旅行。入学時にはまだ幼かった僕たちが、ついに海外へ飛び立

つ時が来ました。飛行機から外を眺めていると今までの自分の不安や悩みが、とてもちっぽけに感じました。そして、現地に着くと、ほんの数時間前まで寒かった外の空気は、驚くほど暑くなっていました。まだ出発時に食べたカレーの味が口の中に残る中、移動を始めました。僕たち学生にとって海外旅行というものは、本当に最高のものでした。きれいな海、まぶしい太陽、温かい人たち、そして、美人なお姉さまたち。目に映る全ての景色が、楽園で夢のようでした。行ってからのお楽しみということで、ネタバレ

は控えておきますが、一生の思い出になる事は、間違いないなあ。(佐藤)

僕たちのこの修学旅行での一番の思い出はファームステイです。航空機の故障により出発が一日遅れ、ファームステイは一日だけとなってしまいました。しかし、ホストファミリーは僕たちを色々な所へ連れて行ってくれました。その中でも一番印象に残っているのは、ワラビーやカンガルーなどのオーストラリア特有の動物を見に行き、そこでエサやりをして触れ合っ

た時、皆さんもご存じの通り、しかし、われわれが行った時、皆さんもご存じの通り、



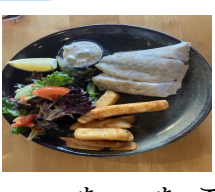
レインフォレステーションにて



スカイレール乗車



ファームステイ



ワラビーとのふれあい

今年度より、記事の内容は各クラスの新聞委員が記者となり記

り、オーストラリアで森林火災が起きていました。その影響で一つの州だけでコアラが8千匹も死んでいます。今のところ全部で5億匹の動物が火事に巻き込まれ死んでいるそうです。募金など少しでも自分たちにできることを探そうと思っています。(乾・高村)

修学旅行出発時に飛行機会社による遅延などスタートにハプニングがありました。オーストラリアに着くとそんな事も忘れ



レインフォレステーションにて



コアラに会えました



て、とても楽しめました。一日目は、ファームステイでオーストラリアの生活を体験できてとても充実した時間を過ごせました。二日目は、レインフォレステーションでカンガルーやウォンバットなどオーストラリアにしかない動物を見たり、アボリジニの文化を深く学べたり、暇な時間がないくらいに楽しめました。昼ごはんも珍しいカンガルーやワニの肉など普段食べられないものが多かったです。三日目は、グリーン島で色々な魚を見たり、泳いだりして、少し天気が良くなかったものの、いい思い出になりました。この修学旅行では、いつもとは違う



グリーン島



オーストラリアの海を満喫



た。(長田・貴島)

僕たちは修学旅行でオーストラリアに行きました。飛行機に乗る前からとても楽しみでワクワクしていました。着いて食事をしてからホームステイ先の人々と会いました。英語で会話をしないといけないので難しいところもありましたが、分かりやすく話してくれるので良かったです。ファームステイを終えてホテルに行った時、こんなにきれいなんだとびっくりしました。町はともいってところで日本と全然違う感じでした。ゲームセンターも日本とやり方が違いました。食事に関しても好き嫌いが分かれるかもしれませんが、僕はとてもおいしいと思

物がたくさん生息しています。町の中央に行く景色は一変し、都会がそこには広がっており、様々なものが取り揃えられています。例えば、ネックレスやピアスなどの装飾品、カンガルーやワニなどのジャッキー、カンガルーの皮で作った帽子や財布などがあり、購入意欲が絶えることはないでしょう。ホームステイ先や店の人々はとてもやさしく英語がわからず困っている時でも助けてくれました。皆さんの中には海外の修学旅行に不安を持っている人もいますが、何も心配はいりません。

私たちの修学旅行は不安と期待がありました。なぜなら、飛行機会社のジェットスターがストライキで修学旅行がなくなってしまうかもしれないということで、修学旅行は学生最後の旅行なのという複雑な気持ちだったからです。そのような中、無事に飛行機が飛び、それと同時に不安はなくなりました。ケアンズに着き、そこからは天国の六日間でした。一番印象深いのはファームステイです。ケアンズの良いところたくさん連れて行っていただき、素晴らしい経験をすることが出来ました。人生で最初で最後かもしれないオーストラリアは予想以上に楽しく



キュランダでショッピング

必ず楽しい修学旅行になりなす。一年生のみなさんは修学旅行を楽しみにしておいてください。(北村・田中)



アボリジニの文化に触れました



中村)



正当御忌式

1 / 24

光永圓道上人の講演

今回の正当御忌式に講演頂いたのは光永圓道上人です。この上人は、東京都出身の天台宗の僧侶で、千日回峰行と十二年龍山に入られ、2007年に行の最難関である「堂入り」に入り、満行。堂入りを達成した行者としては、2001年の藤波源信師以来6年ぶりで、戦後12人目。「当行満阿闍梨」と称され、生身の不動明王とされる。2009年には、千日回峰行を満行し北嶺大行満阿闍梨となられた方です。なかなかお会いする

光永さんは、「失敗をしても『失敗の原因』と『次の対策』を考え、行動すればいい」ということをおっしゃっていました。私は光永さんのお話を聞いて、自信を失うことは、マイナス思考を持つているのだなと気が付きました。しかし、『失敗の原因』と『次の対策』を考え、次に向けて行動するということがプラス思考であるということが分かりました。これからは光永さんのような考えを持ちたいです。(豊田)



高一生による 一年間を振り返って

に振り返っていただきました。各記者からの振り返りレポートです。

私の振り返り

もうすぐで入学して1年が経ちます。大変なことは勉強です。8時間授業には慣れましたが、毎日の小テストに苦しめられています。勉強して練習では出来たのに、本番で出来なかったときは「なんでできへんねん」と悔しい思いをします。再テストでも何回も上手くいかないときもあります。そういう日は20時バスに乗り、野球部の面白い話や歌を聴かせてもらうことがあります。

しかし、大変な勉強だけではなく、総合探究部やボランティア部、赤十字や学校行事のボランティアなどで様々な活動もします。みんなで楽しく活

一年の振り返り

動できることが、とても嬉しいです。来年度も様々な活動をしたいです。(豊田)

僕は高校に入学してもう一年がたっていることに驚きました。その理由は中学の時よりも時間の経過が早かったからです。結果的には勉強が大変だったということもあり、面白いことが起こったわけでもなく、まあまあ一年間でした。だから無事に二年生に上がることが出来たら体育大会などの学校行事に積極的に参加して、今年よりも良い一年間にしたいと思っています。(大橋)

一年間を改めて振り返ってみると、入学した当初から今まで様々な行事が季節ごとにあつて、勉強やクラブ活動に苦勞しつつ、けれどその度に色々な思い出が出来たりして、充実した一年を送れたと思います。また、この一年を通して様々な事が学べ、成長出来たのでそれをこれから的人生に生かしていきたいです。(石橋)

ルールを学びました

一年生では、初めての行事や、ルールがあり、学んだこと楽しかったことが多くとても短く感じる一年だと感じました。色々みんな楽しんでくれたことが出来ました。(舟橋)

二年生へ向けて

僕は、もう二年生になるんかあと思った時、最初に思ったことは一年はとも早いなあと思った。一年間いろいろあったけど、たくさんさんの良い思い出が、できたとと思う。そして二年生になったから、僕は総合進学に行くけど、今は特進にいるので、二年生になったら気持ち的に少し楽になると思うけど、気を抜かず、クラスのみんなを引っ張っていきけるように頑張っていきたいと思う。

この一年間は、あまりなにも挑戦してきていないので、二年生になったら、自分の殻をやぶり、将来やりたいことや夢を見

高一総合進学コース 百人一首大会

1 / 8



高校一年生の総合進学コースの各クラスにおいて、百人一首大会が行われました。各自、覚えてきた百人一首の句を自分の得意札として、読み上げられる百人一首を聞き、素早くカルタ札を取り合いました。記者からの報告です。

三期の古典の初めの授業に一年生で最後の行事、百人一首大会がありました。冬休みの間におぼえてくる課題がでていましたが、おぼえている人とおぼえていなかった人の少しの差があつたけれど、みんなで楽しむことが出来ました。最後の決勝戦では、やっぱりおぼえてきた人が強く、見応えのある戦いでとても楽しかったです。(舟橋)



だんだんと勝ち進んでいった人たちは下の句を聞かず上の句だけで聞き分けている人がほとんどでした。(青木)

中学三年生から

つけていきたいと思っています。また、進路についても真剣に考えていかないとけないなあと考えた。二年生でもたくさんさんの思い出を作りたいと思った。学校生活を楽しみながらも、けじめをつけるとかはしっかりしていきたいと思った。中島1/5

入学式後の花見



中一 二上登山



中二 スキー合宿



中二 調理実習



中三 畑活動



中三 修学旅行

記者が中三生にインタビューしてくれました。

Q 三年間の思い出は何ですか？

A、色々ありましたが、中一からうまくいかない時もみんなに支えてもらいながら頑張った事です。

そして卒業式を
むかえました
3 / 15



A、中二でやっと慣れてきたけど、小テストの居残りなど多かったです。中三になつてみんなと笑い合ったり、先輩と遊んだこと。その全てが宝物でした。

Q、他に思い出はありますか？

